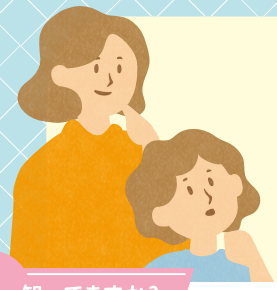
JA共済

“がん”は思ったより身近な時代！



女性特有のがんのこと考えてみませんか？



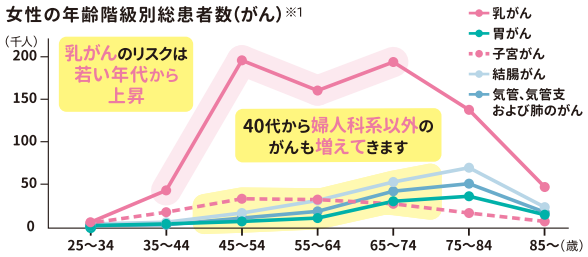
1 知ってますか？女性のがんリスク

30歳代から増加する、乳がんのリスク…。



若い世代から身近なリスク

女性の年齢階級別総患者数（がん）※1



※1 厚生労働省「令和5年 患者調査」をもとにJA共済連作成

女性がかかりやすい“がん”※2

1 乳房 98,782
2 大腸 68,314
3 肺 41,782
4 胃 36,053
5 子宮 30,111

女性の約9人に1人が一生のうち乳がんと診断されるリスクが！※3

※2 国立がん研究センターがん情報サービス「部位別がん罹患数（女性 2021年）」 ※3 国立がん研究センターがん情報サービス「累積がん罹患リスク（2021年データに基づく）」

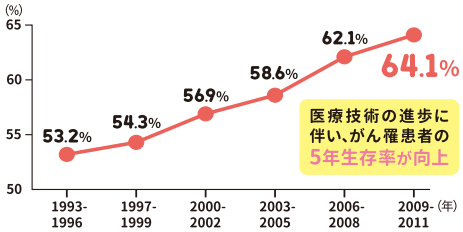
2 知ってますか？女性のがんリスク

医療の進歩などにより生存率が高まっている一方で、家事や育児はもちろん、仕事と治療の両立も考える必要が。



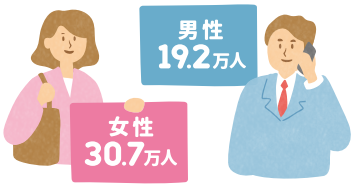
がんと診断されてから5年後も生存されている方が増えています。

1993年～2011年診断例の5年相対生存率※4

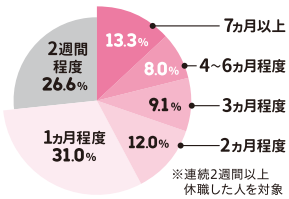


多くの人ががんと向き合いながら仕事を続けている一方で、がんの治療・療養のために休職する可能性もあります。

悪性新生物の治療のため、仕事を持ちながら通院している人は約49.9万人※5



がんの治療・療養のために取得した休職期間※6



※連続2週間以上休職した人を対象

乳がんではホルモン療法を5年以上※7続けることもあります。



※4 国立がん研究センター がん情報サービス「全国がん罹患モニタリング集計 2009-2011年生存率報告（国立研究開発法人国立がん研究センター がん対策情報センター,2020）独立行政法人国立がん研究センター がん研究開発費「地域がん登録精度向上と活用に関する研究」平成22年度報告書」 ※5 厚生労働省「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン 令和6年3月改訂版」（資料：厚生労働省「令和4年国民生活基礎調査」を基に同省保険局医療課にて特別集計したもの）※無給で自家営業の手伝いをした場合等を含む。 ※6 独立行政法人労働政策研究・研修機構「治療と仕事の両立に関する実態調査（患者WEB調査）2024年3月」をもとにJA共済連作成 ※7 一般社団法人日本乳癌学会「患者さんのための乳がん診療ガイドライン2023年版」

がんとともに生きる時代だからこそ気になる経済的な負担

1 長期治療や再発による医療費の継続的な負担
2 就労の制限による収入の減少
3 先進医療の技術料の自己負担

3 知ってますか？女性のがんリスク

公的医療保険制度でカバーできない自己負担費用も



差額ベッド代
個室や4人以内の病室に入った際の差額料金

公的医療保険対象外の特殊な治療費
先進医療を受けた際の技術料など

その他の雑費
交通費や入院に必要な日用品代、快気祝いなど

- 収入の減少
- 家事・育児代行サービス利用料
- ウィッグの購入費
- 卵子凍結等の妊孕性（にんようせい）温存療法の費用

しっかり治療に専念できるように、
いまから備えておくことが大切です。

必要な備えについては、裏面へ



がん共済 JAのがん共済は

上皮内がんを含むさまざまな“がん”や脳腫瘍を保障します。

1 安心 がんの3大治療法に対応！

入院や手術・放射線治療はもちろん、抗がん剤治療やホルモン剤治療、がん性疼痛等の緩和のための在宅医療も保障します。※1

幅広い保障範囲



※1 入院およびこれらの治療を以下「所定のがん治療」といいます。手術、放射線治療、抗がん剤治療、ホルモン剤治療およびがん性疼痛等の緩和のための在宅医療については、公的医療保険制度に基づく所定のがん治療が対象です。 ※2 先進医療保障ありを選択した場合

2 安心 所定のがん治療を受けた月ごとに、がん治療月額共済金※3を受け取れます！

通院による抗がん剤治療など、入院している場合の治療に限らず、保障します。

通算の支払回数に上限はありません！



※3 がん治療月額共済金のお支払いは、月に1回を限度とします。

3 安心 オプションの保障でご意向にあわせた保障を自由に設計！



まとまった一時金の保障（がん診断共済金※4・がん治療一時金※5）

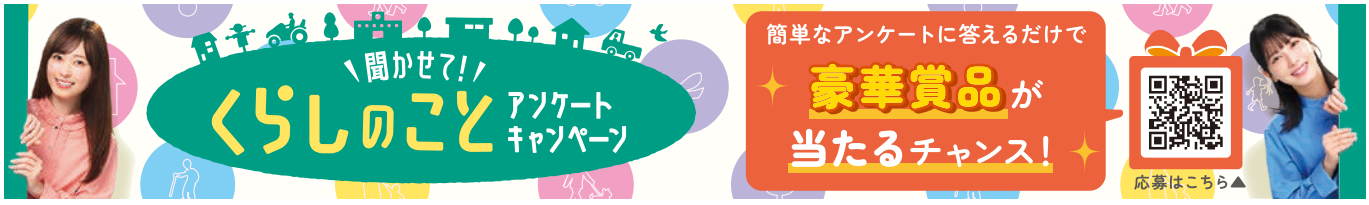
生活費やウィッグの購入費用、妊孕性の温存療法の費用など、がん治療に伴うさまざまな自己負担となる費用にご活用いただけます。

がん診断以後の共済掛金の払込みを免除する保障※6

がんと診断された場合に、共済掛金の払込みを免除することで、がんによる収入減少時にも安心して保障を継続することができます。

※4 診断保障ありの場合。がん診断共済金は共済期間を通じて1回のみ支払われます。 ※5 診断保障ありの場合。がん治療一時金は、がん診断共済金または前回のがん治療一時金の支払事由に該当した日からその日を含めて1年を経過した日以後、所定のがん治療を受けた場合にお支払いします（1年に1回を限度）。 ※6 がん診断時共済掛金払込免除特則を付加した場合。がん診断時共済掛金払込免除特則による共済掛金の払込免除については、ご契約日からその日を含めて91日目から責任（保障）を開始いたします。

＊この共済の対象となる「がん」は、所定の悪性新生物（上皮内新生物を含む）および脳腫瘍です。＊共済金のお支払いや共済掛金の払込免除には所定の要件があります。



お近くのJA窓口へ、お気軽にご相談ください。

詳しくは、ホームページをご覧ください。
https://www.ja-kyosai.or.jp

JA共済

●この資料は概要を説明したものです。詳細につきましては「重要事項説明書（契約概要・注意喚起情報）」および「ご契約のしおり・約款」により必ずご確認ください。

26481020185